

< もくじ >	
1. 2017年度定時総会・第16回大会開催日のお知らせ	1
2. 第3回研究会合同イベント「社会保障の明日を考える」 (社会保障研究会100回記念シンポジウム開催のお知らせ(再掲))	1~2
3. 2017年大会テーマに向けた読書会のご報告とご案内	2
4. 研究会からのお知らせ	2~3
5. 各研究会の概要報告	3~4
6. 学会機関誌「エイジレスフォーラム」第15号掲載原稿を募集します	4~5

## 1. 2017年度定時総会・第16回大会開催日のお知らせ

2017年度総会・第16回大会の日程・会場が下記の通り決定しましたのでお知らせいたします。

- 1) 日 程：2017年6月18日(日) (第一部《総会》10時～、第二部《大会》11時～)
- 2) 会 場：お茶の水女子大学 本館 306室(東京都文京区大塚)
- 3) 大会テーマ：「分断社会を超えてー持続可能な超高齢社会をめざして2ー」

2017年度は第3期3ヶ年計画の2年目に当たり、「持続可能な超高齢社会をめざして」の基本テーマの下、「分断社会を超えてー持続可能な超高齢社会をめざして2」のテーマで展開します。世界と日本における分断状況を明らかにし、それを克服する道をさぐりたいと思います。基調講演は、井手英策慶應義塾大学教授です。多くの方のご参加をお待ちしております。

(既に、JAAS News 第210号及び学会ホームページにおいて、会長の「年頭の辞」の中で6月11日(日)とお伝えしましたが、会場の都合により、変更になりました)

## 2. 第3回研究会合同イベント「社会保障の明日を考える」 (社会保障研究会100回記念シンポジウム) 開催のお知らせ(再掲)

少子高齢化と経済不況が同時進行する日本社会では、社会保障制度を安定的に維持することが大変に困難です。年金、医療、介護など受給者が増大するにもかかわらず、保険料を支払う現役世代が縮小し、おまけに働く人の4割近くが非正規雇用です。高齢者には安心の老後を、若い世代には将来への夢を確かなものにするには、今、何をなすべきか、今後、社会保障制度はどうあるべきか、社会保障研究会が100回を迎えたことを記念して、シンポジウムを開催いたします。多数の方のご来場をお待ちいたします。

### ◆ パネリスト

袖井孝子(シニア社会学会会長)

坂本純一(野村総合研究所、当学会会員)

酒井忠昭(医師・認定NPO法人ホームケアエキスパート理事長、当学会会員)

### ◆ コメンテーター

辻哲夫(東京大学高齢社会総合研究機構特任教授、当学会会員)

### ◆ コーディネーター

福田明美(NEC、当学会会員)

- 1) 日 時：2017年3月5日(日) 13:30~16:00 (受付は13時から)
- 2) 会 場：東京家政学院大学三番町校舎 1214 室 (市ヶ谷駅徒歩8分)
- 3) 参加費：1000円 (学生:500円)  
※ シンポジウム終了後に懇親会 (参加費：500円)
- 4) 申込方法：2月22日(水)までに、お名前、連絡先、懇親会への参加の有無を e-mail・電話・FAXでシニア社会学会事務局までお申込みください。  
事務局 (月・水・金)：電話・FAX 03-5778-4728 e-mail: jaas@circus.ocn.ne.jp

### 3. 2017年大会に向けた読書会のご報告とご案内

シニア社会学会では、「持続可能な超高齢社会をめざして」というテーマを掲げた3ヶ年計画の大会テーマの第2年目の2017年度の大会では、「分断社会を超えて」というテーマを設定し、井手英策先生(慶應義塾大学教授、財政社会学)に基調講演をお願いしております。企画委員会では、大会準備のために、井手先生の主要著書『経済の時代の終焉』岩波書店、2015(大佛次郎賞受賞)の「読書会」を開催しております。第1回は、1月23日(月)に7名の参加者を得て開催いたしました。序章と第1章について、坂林哲雄さんに詳細なレジュメをもとに解説をしていただき、それぞれの参加者の問題意識や経験を背景として討論を行いました。

ご参考までに、本書の章タイトルは以下の通りです。

- |     |                               |
|-----|-------------------------------|
| 序 章 | さまよう「公」と「私」                   |
| 第1章 | 私たちはどのように新自由主義に飲み込まれたのか?      |
| 第2章 | なぜ私たちの賃金は低下するのか?              |
| 第3章 | グローバリゼーションはどのように世界経済を揺るがしたのか? |
| 第4章 | なぜ財政危機が問題なのか?                 |
| 終 章 | 経済の時代の終焉—再配分と互酬のあたらしい同盟       |

- |     |               |             |        |          |
|-----|---------------|-------------|--------|----------|
| 第1回 | 2017年1月23日(月) | 14:00~16:00 | 序章・第1章 | 坂林哲雄(終了) |
| 第2回 | 2017年2月20日(月) | 14:00~16:00 | 第2章    | 安田和紘     |
| 第3回 | 2017年3月14日(火) | 14:00~16:00 | 第3章    | 中村昌子     |
| 第4回 | 2017年4月 未定    | 14:00~16:00 | 第4章・終章 | 長田攻一     |

※ 場所：シニア社会学会事務局

150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

電話&FAX：(03) 5778-4728 e-mail: [jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp)

これからでも、ご参加いただける方を募集しております。参加ご希望の方は、メールまたは電話・FAXにて奮ってご応募下さい。事前に読んでいなくても、当日の担当者が解説します。また、必要であれば終了した回の資料のコピーも用意いたします。

読書会を通して、また、読書会には参加できない場合でも、本書あるいは他の著作でも読んでいただくと、大会への関心は一層高まるものと期待しております。

以下は、井手先生の他の著書です。

- 井手英策 『日本財政 転換の指針』(岩波新書) 2015
- 井手英策 『財政赤字の淵源』、有斐閣、2012
- 井手英策、松沢裕作 『分断社会・日本』、(岩波ブックレット No.952)、2016
- 井手英策、佐藤 優、前原誠司 『分断社会 ニッポン』、朝日新書、2016
- 井手英策、古市将人、宮崎雅人 『分断社会を終わらせる』、筑摩選書、2016

(大会企画委員会)

## 4. 研究会からのお知らせ

### (1) 第41回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2017年2月23日（木） 15：00～18：00

2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室

3) テーマ：①安田コーディネーターの発表と討議

—持続可能な超高齢社会への課題と解決の方向性

②新聞記事スクラップ「格差・貧乏・分断」の報告

佐藤敬さん、福元公子さん、島村健次郎さん

4) 参加費：300円

※お問い合わせは、事務局・島村 ([ken-sima1941@jcom.home.ne.jp](mailto:ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)) 迄お願い致します。

### (2) 第37回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2017年2月23日（木） 18：00～20：00

2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室

3) 講 師：紺野泰洋（早稲田大学大学院教育学研究科社会科教育専攻社会学コース修士課程）

4) テーマ：「繋がり」のライブハウス——「支援」と被災地との間で（仮）

5) 参加費：500円（ただし、社会人を除く学生、早稲田大学総合人文科学研究センター〈現代の危機と共生社会〉研究部門および、早稲田大学プロジェクト研究所のメンバーは無料）

※お問い合わせは、福原（[fukuhara@jaas.jp](mailto:fukuhara@jaas.jp)）までお願いいたします。

### (3) 「シニアのICT活用」研究会の開催について

現在、研究会開催は調整中であり、決まり次第あらためてお知らせします。

## 5. 各研究会の概要報告

### (1) 第100回 「社会保障」研究会

1) 日 時：2017年1月25日（水） 18：00～20：00

2) 場 所：日本労働者協同組合会議室（豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 8階）

3) 講 師：堀 裕行（厚生労働省医政局総務課）

4) テーマ：人生の最終段階における医療の意志決定プロセスについて

平成19年5月に厚生労働省が発表した「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」が作成されるに至った歴史的経緯、ガイドラインの内容、ガイドライン公表後の医療体制の変化などについて説明された。ガイドラインが作成された直接の契機は、末期患者7名の人工呼吸器を外して死に至らしめた射水市民病院（富山市）事件（平成12年以降、平成18年に報道）であった。しかし、それ以前から医療の管理下に置かれた延命治療への反省から、死にゆく過程における患者本人の意志を尊重することの重要性に社会的な関心が集まっていた。ガイドラインそのものは、きわめてシンプルであり、患者の意志確認ができる場合にはその意志を尊重し、確認できない場合には、家族や医療・ケアチームとの十分な話し合いが推奨される。人生の最終段階の治療・療養について、患者・家族と医療従事者が予め話し合うプロセスであるアドバンス・ケア・プランニングが、文書として残すことよりも大切である。意思決定することが困難な重度の認知症患者については、成年後見人が医療同意できるよう法の整備が求められている。

かなり冷え込む日であったため参加者は少なかったが、実際にガイドライン普及のための研修に参加した人や現に成年後見人を務めている人から、現在の動きに対する批判や懸念が示され、非常に内容の濃い研究会であった。（袖井孝子 記）

## (2) 第40回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

1) 日 時：2017年1月26日(木) 15:00~18:15

2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室

3) テーマ：碓正義さんの発表と討議

—「憲法に不馴れな国民であった？」を手掛かりに「持続可能な超高齢社会の実現」の課題を探る。

• 碓さんから、濱口座長のJAAS News 第208号に寄稿された巻頭言『~私たちは「不馴れな国民」であった?』を読み、憲法と持続可能な超高齢社会の関連についての発表と意見交換が行われた。

• 濱口座長から、新聞記事のスクラップ「テーマ; 格差・貧乏・分断」を時系列的・定点的に行ない、データを集積し成果をまとめたいとする方針が示され、スタートすることにした。

※お問い合わせは、事務局・島村 ([ken-sima1941@jcom.home.ne.jp](mailto:ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)) 迄お願い致します。

## (3) 第36回「災害と地域社会」研究会の概要報告

1) 日 時：2017年1月18日(水) 18:30~20:30

2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館5階第5会議室

3) 報告者：伊藤 勝(江戸川大学名誉教授、早稲田大学地域社会と危機管理研究所客員研究員)

4) テーマ：映像で語る「流山市民の、流山市民による、流山市民に限らない人のための防災訓練」

5) 報告概要

江戸川大学名誉教授の伊藤勝さんは、日本各地での地震災害ばかりでなく火災、コンビニート災害、爆発事故など、幅広い災害状況について長年研究を続けてこられました。今回は、流山市での市街地中心部で、「安心・安全まちづくり協議会」が主催し、伊藤さんご自身が指揮を執って2016年12月3日に行われた、第3回合同訓練について、準備段階から当日の訓練状況についてご報告いただきました。

2005年に発足した「安心・安全まちづくり協議会」には、自治会、立地企業、NPO、区画整理事業を担当したUR都市機構、流山市、消防署、警察、高校とともに江戸川大学も参画しております。この協議会では、「円卓会議」方式でさまざまなモデル事業を企画しており、講演会、交流会などの活動の他に、「防災マップづくり」で賞をとったり、防災コミュニティづくりの一環として、毎年1回の合同防災訓練を実施してきました。今回の第3回の合同訓練では、大規模地震が起きたという想定で、駅周辺にいる流山市民ばかりでなく他地域の人びとをも対象に、①駅構内からの避難(非常停止ボタン、幼児誘導、車椅子介助、担架移送)、②AED訓練、③任意体験(起震車、給水、煙体験、消防・警察車両体験)、④避難訓練(1.7km)、⑤火おこし、避難食、⑥防災倉庫見学、⑦仮設マンホールトイレ、⑧修了証授与に至る訓練を、200名の参加者を動員して行ったということです。今回の訓練では、参加団体も消防や警察ばかりでなく事業所や区画整理事業団体など種類も多く、また駅周辺での外部から来た人びとをも対象としたところに特徴があると同時に、多くの子どもたちが参加したとのこと。他の地域でも参考になることが多く含まれており、とくに、障害のある子どもが、その参加経験によって生き生きとした役割を果たしたことが大きな収穫であったというお話が、印象的でした。

(長田記)

## 6. 学会機関誌「エイジレスフォーラム」第15号 掲載原稿を募集します

一般社団法人シニア社会学会は広報誌のひとつ、学会機関誌「エイジレスフォーラム」第15号に掲載します『会員の声』および過去3年以内に出版しました『著書紹介』の原稿を募集します。下記の要項に基づきふるって応募下さい。

### ◆『会員の声』

テーマ：日頃から考えていること、現在地域で活動して感じたこと、シニア社会学会のこれから、などテーマは自由です。

文字数：800字（30字前後の長短は可能）

締切：2017年2月28日必着

送り先：シニア社会学会・事務局 担当武者宛電子メール(jaas@circus.ocn.ne.jp)添付。不可能な場合はFAX(03-5778-4728)にてお送りください。

### ◆『著書紹介』

過去3年以内に出版した著書、または共著をご紹介します。

応募方法：紹介著書の書評、及び著書本体(表紙画像掲載の為)を下記あてお送りください。

書評文字数：1,200字以内を厳守ください。

書評のみ電子メール(jaas@circus.ocn.ne.jp)添付にて、事務局担当武者宛お送りください。

締切：2017年3月15日必着

送り先：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

一般社団法人シニア社会学会・事務局 担当 武者宛

尚、お送りいただきました著書は編集終了後返却致します。

一般社団法人シニア社会学会・事務局(月・水・金オープン)  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階  
電話&FAX:(03) 5778-4728  
eメール:[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) URL:<http://www.jaas.jp/>